

本のまちビジョンの検討状況について

2024年（令和6年）6月の総務常任委員会で策定に向けた検討開始について報告しました「明石市本のまちビジョン」の検討状況について以下のとおり報告します。

1 これまでの検討経過について

2024年	6月	市議会総務常任委員会に本のまちビジョンの検討開始を報告
	7月	市民への意見聴取を実施（ブックスポット運営者、書店、ボランティア活動者、ボランティアコーディネーター）
	8月	第1回検討委員会を開催（現状と課題について） 市民への意見聴取を実施（明石市障害当事者等団体連絡協議会）
	9月	市民ワークショップを開催
	10月	関係者への意見聴取を実施（あかし市民図書館司書／学校司書） 市民への意見聴取を実施（子育て支援センター来館者） 第2回検討委員会を開催（骨子案について）
	11月	第3回検討委員会を開催（素案原案について）

2 本のまちビジョン素案(原案)の構成と概要について(詳細は別紙:第3回検討委員会資料を参照)

項目	概要
明石市本のまちビジョンの位置づけ	● 「あかしSDGs推進計画」、「あかしSDGs（前期・後期）戦略計画」に紐づくビジョンと位置づけ
第1章 明石市本のまちビジョン	1 はじめに ▶ 本のまちを推進する目的について記載 2 本のまち推進の方向性と大切にしたいこと 3 本のまちが目指すイメージ（全体像） ▶ 市民が「本とつながる」、「本からつながる」ことができるまち、という大きな方向性を示し、本のまち推進において大切にしたい6つのイメージを記載 ① 本に親しみ本が好きになる ② 楽しみながら本と人の魅力に触れられる ③ 知りたい情報が得られる ④ 本のある場所でくつろぎ、過ごしたいように過ごせる ⑤ ゆるやかで自発的なつながりが生まれる ⑥ やりたいことにチャレンジできる

	4 本のまちを推進する人や場所 5 本のまちを推進する人や場所の連携 ▶ 本のまちに関わる様々な人や場所の役割や連携の理想像を記載 6 本のまちを推進するために市が取り組むこと ▶ 本のまち推進において大切にしたい6つのイメージを元に市が取り組むことを記載
第2章 ビジョン策定の過程	● 市民ワークショップの結果、本のまちビジョン検討委員会での検討結果の概要など検討の経過を記載

3 第3回検討委員会での主な意見

本のまちビジョン素案（原案）に対し、主に以下のような意見がありました。意見を踏まえて原案を修正し、素案を作成のうえパブリックコメントを実施します。

<ul style="list-style-type: none"> ● 素案の大枠はこれで良い ● 本は想像（創造）力や生きる力を育むことができるもの。重要な要素であるので大切にしたい6つのイメージのどこかで触れても良いのではないか ● 本のまちの取組を進めることで「やさしさのあふれるまち」を目指すということであるが、本はまさに多様な価値観を知ることができるものである。また本を介して人とつながることで多様な価値観に触れるるので、それがやさしさにつながっていくのではないか ● 本のまちはいろいろな人や場所が共振し共創することを期待するものであり、それをどこかに記載するべきではないか ● 本のある場所についてどのような場所かをわかりやすくするため、キャッチフレーズのようなものを考えたほうが良いのではないか ● 明石市がなぜ本なのかを説明する意味で、市のこれまでの本のまちの取組も掲載してはどうか。本のまちの取組は突然始めるものではなく、これまでの取組も踏まえてこれからも進めていくものである ● これからの図書館は情報支援だけでなく、活動支援を行っていくことも重要となるのではないか ● ビジョンの概要版は中学生がわかるような、内容がちょうど良い。イラストも工夫すべきなど
--

4 今後の予定(案)

2024年	12月	本のまちビジョン素案の作成
2025年	1～2月	パブリックコメントを実施
	2月	第4回本のまちビジョン検討委員会を開催（案について）
	3月	市議会総務常任委員会でビジョン案を報告 ビジョンを策定・公表